

栗原市教育研究センター通信

平成29年2月発行

栗原市立金成小中学校の「学力向上の特色ある取組」とは？

菊地正美校長先生から、お話を伺いました。

1 校内研究のテーマは小中共通

本年度の主題は、「基礎・基本を身に付け、自分の考えを表現する児童生徒の育成」で、副題は、「言語活動、交流活動の充実を通して」です。小中学校が、同じテーマで研究を進めています。



2 研究授業は小中教員で参観

教科部会は6部会（国語、社会、算数・数学、理科、国際キャリア科、栗原ふるさと科）で、教科部会ごとに、年1回研究授業をします。小中学校に関係なく、参観します。なお、「参観記録」に記入してもらい、それを基にして事後研究会を開催します。

3 4つの専門部で研究を推進

専門部は、授業研究推進部、学力学習状況調査分析・対策部、学習アンケート部、家庭学習部の4つです。なお、家庭学習部では、「発表のしかた」を決めたり、「家庭学習の手引き」（中学校は、「自学の手引き」）を作成したりしています。

4 外国語活動の指導は小中の教員によるTT

小学校の外国語活動と中学校の英語科を「国際キャリア科」と名付けて、他の学校よりも時数を増やして指導しています。

中学校の英語科教員が兼務発令を受け、小学校5・6年生の外国語活動の授業の指導を行っています。なお、指導は、担任と中学校の英語科教員とALTの3人によるTTとなっています。ただし、中学校教員が小学校で授業を行うための時間割作成に難しさがあります。

5 小中連携した放課後学習会



小学校では、学年ごとに曜日を決めて週1回、学習会を開いています。時には、退職された先生が、ボランティアとして指導に当たっています。また、冬期間の放課後には、選ばれた中学生が、小学3年生以上の児童に算数を教えるという放課後学習会も行っています。この活動は小学生にも好評を得ています。

なお、中学校では「ノ一部活動の日」や定期考査前に、学習会を設定しています。

6 外部講師の活用

放課後学習会の他に、読書指導、稲作やリンゴ栽培、ホタル生息調査、和太鼓指導、書写指導などにも、多くの外部講師の方のご協力をいただいています。なお、ホタル生息調査の発表では、県の「生物多様性推進活動優秀賞」を得ることができました。

7 異学年の行事への参加

運動会は、小中合同で行っています。中学生が積極的に運営や小学生のお手伝いをします。また、中学生の行事である「中総体壮行式」「福祉体験発表会」「立志式」には、小学5・6年生も参加しています。そうすることで、中学生の活動から学ばせたり、今後の目標や見通しなどを持たせたりしたいと考えています。

8 小中連携の成果と課題

成果のひとつには、小学生にとって、先輩の活動や活躍を見られることから、学ぶことが多いということがあります。加えて、中学生も模範となるように努力するようになることです。例えば、体育館での集会時には、中学生のきちんとした態度が、小学生にもよい影響を与えています。

一方、課題としては、異学年交流の活動を行ってはいけるものの、中等部である小学5・6年生と中学1年生との円滑な接続の難しさ（設定の工夫など）があります。今後は、小中相互の乗り入れを さらに増やしたいと考えています。

最後に、菊地校長先生からは「小中一貫校として3年目ですが、保護者の理解が深まってきたと感じています。さらに理解を深めていただけるよう頑張り、金成小中学校を盛り上げていきたい。」との力強い言葉をいただきました。

発行責任者

栗原市教育研究センター 所長 原 吉宏

栗原市金成沢辺西大寺1-5

TEL/FAX 42-1157

教育相談専用電話 42-1230